

瑠璃



彼杵中学校
校長 川内康範

平成30年度彼杵中学校の
教育活動がスタートしました。



朝、グラウンドから校舎越しに見える山々の緑は色鮮やかでみずみずしく、眺めているこちらも、すがすがしい気持ちになります。1学期がスタートしてもう1週間が過ぎました。2・3年生は新しい学級に慣れてきた頃でしょうか。1年生は、大きく環境が変わり、まだ戸惑うことの方が多いのかもしれませんが。9日(月)の入学式では次のようなことを述べました。

今日から彼杵中学校の生徒となる皆さんに「このような中学生になってほしい」という私の願いを話したいと思います。

まず一つは、「自分で考え、判断し、選択する練習をしよう。」です。入学したばかりの皆さんには、まだピンと来ないかもしれませんが、三年後は中学校卒業です。その後は、いろいろな道に進むことに

なります。その時に、皆さんは自分が進む道を自分で探さなければなりません。それは大切な選択になります。その大切な選択の前に、いろいろな場面で選択の練習をしてほしいのです。選択の練習は毎日の生活の中でできます。例えば、朝起きるときはどのうやって起きていますか。家の人に起こされるのではなく、自分の意志で起きられるようになってほしいと思います。これも選択のひとつです。部活動は何に入って、どんな取り組み方をするのか。家庭での勉強はいつするのか。こう考えてみると、たくさん選択の機会があると思いませんか。ただ何となく毎日を過ごすのではなく、また、家の人や先生に言われたからするのではなく、「自分で選んで、自分で取り組んでいるんだ。」と考える習慣を積み重ねていってほしいと思います。時には、失敗することもあるかもしれませんが、でも、その失敗は次に生かせばいいのです。次の選択で、いい取組ができれば、あなたは一步成長したといえます。

二つ目は、「友達と協力して活動しよう」です。

「友達効果」という言葉があります。一人ではできないことも、友達がいたからできたという経験をみんな持っています。勉強でも、運動でも、一人で継続するのはなかなか難しいものです。近くに友達がいれば、声を掛け合って頑張れたり、分からないことが分かったりするものです。最近のノーベル賞では、研究しているチームや活動している団体が受賞することがよくあります。現代社会では、個人よりもチームで力を発揮することが多くなっているのだと思います。学校や学級はまさにひとつのチー

ムです。友達と一緒に協力して、励まし合いながら「友達効果」を発揮して、楽しく伸びていってほしいと思います。

三つ目は、「あこがれの人を見つけよう」です。皆さんには、「こんな大人になりたい」とあこがれる人がいますか？ 私たちの周りには、一生懸命に働き、縁の下で力持ちとしてこの地域社会、東彼杵町を支えている方々がたくさんいらっしゃいます。その方たちをぜひ見てください。そして、この人たちに近づくにはどうしたらいいのか、ちょっと背伸びして考えてみてください。そうすることで、もっと学ぼう、がんばりたいという意欲・姿勢が生まれると思うのです。彼杵中学校の校訓は、「志を立て 耐えて 励まん」です。志を立てる第一歩が、「あんな大人になりたい」というあこがれの人を見つけることです。

新入生の皆さんの中学校生活が充実し、たくましく成長されることを願っています。

よろしくお願いします。

校長の川内康範(かわち やすのり)です。この度の異動で、平戸市立大島中学校から転勤してきました。もう20年以上前になりますが、千綿中や波佐見中・川棚中にも勤めていました。久しぶりの東彼杵郡で懐かしさを感じています。生まれは隣の嬉野町です。子どもの頃は国鉄バスに乗って彼杵まで泳ぎにきました。もう半世紀近い昔の話です。